



▶『ビューテラス白鳥』の外観

面キッチン、豊富な収納、落ち着いた色合いの『ヴェンテーツモダン』と明るい『北欧モダン』と、居室の色みやデザイン



▶あいさつする北澤聖長

4年がたち、セミナーは今回で22回目。毎回多くの参加を得て交流の輪が広がっている。女性塾のおかげで良い仕事につながったという話もいただ

全国で仕事ができる。女性に向いている業界でもあると思う」とあいさつ。セミナーでは住宅新報顧問の本多信博氏、国土交通省土地・建設産業局の

留学生向け家賃保証サービス

ニッポンインシユアが九州大学と共同開発

家賃債務保証を手掛けるニッポンインシユア(福岡市)は1月13日、九州大学(同)と共同開発した留学生向け保証サービスの提供を開始した。

保証料を1300円の月払いにすることで、まとまった初期費用を不要にした。英語や中国語、ベトナム語など8カ国語に対応し、入居中のトラブルにも24時間365日

体制で対応する。月額賃料や訴訟費用、残置物撤去・保管費用を保証する。これまでは大学の指導教員が留学生の連帯保証人を請け負うことがあった。1997年には家賃

や原状回復費のほか、留学生が損害賠償責任を負った場合の保険金を補償する『福岡地域留学生住宅保証制度』を導入。留学生の住宅確保をしやす

くしてきた。一方で、家賃滞納や入居後のトラブルが発生すると教員が対応せざるを得ない場合が多く、負担になっていた。不動産賃

貸や損害賠償などの専門知識がない職員では対応が困難になり、結果的に留学生の不利につながること多かつたとい

う。民間の保証会社を利用することでトラブルへの専門的な対応ができるようになるほか、賃貸住宅のオーナーも保証内容やサポート体制の充実により安心して物件を貸しやすくなるなど利点は多

い。2019年夏ごろからニッポンインシユアとの間で保証サービスの共同開発を進めてきた。九州大学には99カ国・約2700人の留学生が通う。来日して半年間は

学生寮に住めるが、その後は民間賃貸住宅に転居する必要がある。20年4月に退寮する約400人

と、すでに退寮済みの留学生から順次サービスの利用が進む見込みだ。自身も留学生として来日した九州大学・姜益俊博士には「国際化を進めていかなければいけない日本において、留学生に

▶国土省の青木局長らが講演



電子契約サービス

セイルポート

不動産業務の電子プラットフォーム『キマRoom! Sign(キマルームサイン)』を運営するセイルポート(東京都新宿区)は1月27日、ソリューション事業のGMクラウド(東京都渋谷区)との業務提携を発表。GMクラウドが提供する電子契約サービス『GMO電子契約サービス Agree(アグリ